主催：省エネルギー行動研究会　後援（予定）：経済産業省、環境省、エネルギー・資源学会、日本エネルギー学会

BECC JAPAN 2015

Behavior, Energy & Climate Change Conference

第2回

期間　2015年9月8日（火）本会議
9月9日（水）施設見学会

会場

本会議
一橋大学 一橋講堂（東京都千代田区）

施設見学会
東京ガス千住見学サイト「Ei-WALK」（東京都荒川区）

定員　本会議／250名　施設見学会／60名（午前・午後　各30名、抽選）

参加費

早期割引（7月20日受付まで）		通常料金（7月21日－8月31日）	
一般	18,000円	一般	20,000円
教育・研究機関	13,000円	教育・研究機関	15,000円
学生	5,000円	学生	7,000円

交流会参加費
2,000円

申込方法
ホームページ/BECC JAPAN 2015/
参加申込欄から、必ずお申し込みください。
http://www.seeb.jp
※電話・FAX・E- mailでの申込受付は行っておりません。
※当日の参加申込は受け付けられませんので、ご注意ください。
※申込手続きが完了すると、登録されたメールアドレスにメールが送信されます。

申込締切
2015年8月31日（月）

全体プログラム

9月8日

9:30～10:00　受付開始
10:00～10:10　オープニング
10:10～11:30　パネルディスカッション
- ●タイトル　：何が省エネルギー行動を形成するか ～省エネ住宅設計の意思決定を例に～
- ●モデレータ　：住環境計画研究所　会長（省エネルギー行動研究会　会長）　中上英俊
- ●話題提供　：東京大学　工学系研究科　准教授　前真之
- ●パネリスト　※予定
  - 環境省　地球環境局　地球温暖化対策課長　土居健太郎
  - 経済産業省　資源エネルギー庁　省エネルギー対策課長　辻本圭助
  - 国土交通省　住宅局　住宅生産課　建築環境企画室長　淡野博久

11:30～12:10　ポスター発表セッション
12:10～12:50　ランチ休憩　※ポスター掲示
12:50～17:40　口頭発表セッション
- ●セッション1A　：学校・消費者教育
- ●セッション1B　：社会規範・ナッジ・動機付け（家庭）
- ●セッション2A　：デマンドレスポンス
- ●セッション2B　：社会規範・ナッジ・動機付け（業務）
- ●セッション3A　：HEMS（Home Energy Management System）
- ●セッション3B　：設計による省エネルギー行動促進
- ●セッション4A　：省エネルギー行動促進実験
- ●セッション4B　：政策・施策評価
- ●セッション5A　：エネルギー消費意識・行動
- ●セッション5B　：省エネルギー技術の導入意思決定

18:00～20:00　交流会

9月9日

施設見学会（午前10:00～12:00／午後14:00～16:00）
東京ガス千住見学サイト「Ei-WALK」（東京都荒川区）

お問い合わせ先　省エネルギー行動研究会事務局（株式会社 住環境計画研究所 内）
〒102-0094　東京都千代田区紀尾井町3-29 紀尾井町アークビル3F
TEL.03-3234-1177　FAX.03-3234-2226　E-mail：info(at)seeb.jp ※(at)は@に書き換えてください
担当：篠、斎藤、玄、平山

本会議　詳細プログラム

(1) 口頭発表セッション

1A	**学校・消費者教育**
	省エネ行動にむけた教育の現状・課題と今後の展望－体系的な普及母体と教材開発の必要性－ 松葉口　玲子（横浜国立大学　教育人間科学部　教授）
	低炭素社会実現に向けた生活者の行動変容を促すために－環境省コミュニケーション・マーケティングWGにおける５年間の議論を参考に－ 藤野　純一（国立環境研究所　主任研究員）
1B	**社会規範・ナッジ・動機付け（家庭）**
	社会規範等メッセージによる電力消費における行動変容の効果分析結果 錦織　聡一（東京工業大学　イノベーションマネジメント研究科 CREST 研究員）
	社会規範的なメッセージを用いた情報提供がもたらす省エネルギーへの意欲向上の効果 小松　秀徳（電力中央研究所　システム技術研究所 情報数理領域　主任研究員）
2A	**デマンドレスポンス**
	「行動変容によるデマンド・レスポンス」：米国における実証実験の結果と今後の課題 ケン　ヘイグ（オーパワージャパン株式会社、渉外部ディレクター）
	実験集合住宅NEXT21でのデマンドレスポンス実証について 秋岡　尚克（大阪ガス（株）リビング事業部 商品技術開発部　スマート技術開発チーム）
2B	**社会規範・ナッジ・動機付け（業務）**
	ビジネスホテルの消費電力量低減のためのPOP 糸井川　高穂（宇都宮大学大学院工学研究科　助教）
	省エネルギー行動を伴う運用改善による企業の省エネルギーマネジメント 長島　守（（株）環境経営戦略総研　エネルギーリテラシー事業部　チーフコンサルタント）
3A	**HEMS（Home Energy Management System）**
	HEMSユーザーのアイトラッキング：省エネのために何をみているか 竹内　幹（一橋大学　経済学研究科　准教授）
	HEMSデータの分析から読み取る生活行動とエネルギー消費の関係性 小澤　暁人（東京大学大学院新領域創成科学研究科　環境システム学専攻　博士課程）
3B	**設計による省エネルギー行動促進**
	ユーザーの省エネ行動を誘発するICTを利用した環境情報の提示と窓システムの連携 長澤　夏子（お茶の水女子大学　基幹研究院自然科学系　准教授）
	分散型コミュニティスペースと誘導システムの構築によるワーカーの行動・満足度の変化に関する研究 野崎　尚子（株式会社竹中工務店　技術研究所　環境計画部　研究員）
4A	**省エネルギー行動促進実験**
	省エネ行動の普及に向けたゲーミング・シミュレーションの開発と実践 杉浦　淳吉（慶應義塾大学　文学部　教授）
	省エネ行動の習慣化に及ぼす行動プランとリマインダの効果の検証 熊田　孝恒（京都大学大学院　情報学研究科　教授）
4B	**政策・施策評価**
	その効果は正しいか？－省エネルギー・節電・デマンドレスポンス実証の実験計画と効果検証のあり方－ 西尾　健一郎（電力中央研究所　社会経済研究所　主任研究員）
	住宅エコポイントがもたらした効果 藤澤　美恵子（金沢星稜大学　経済学部　教授）
5A	**エネルギー消費意識・行動**
	家庭内における省エネルギー行動と意識に関する研究－既存マンション居住者に対するアンケート調査結果－ 坊垣　和明（東京都市大学　都市生活学部　教授）
	東日本大震災以降の生活者の節電実施状況－「節電に対する生活者の行動・意識に関する調査」を通じて 小山田　和代（みずほ情報総研（株）　環境エネルギー第１部　地球環境チーム）
5B	**省エネルギー技術の導入意思決定**
	住宅供給者と購買者の意識調査に基づく省エネルギー住宅普及実態に関する研究 前　真之（東京大学　工学系研究科　准教授）
	環境配慮行動モデルを用いた家庭用省エネルギー機器の導入要因の検討 小林　翼（北海道大学大学院　文学研究科　修士課程）

(2) ポスター発表セッション

① **省エネライフスタイルの変革に関する研究**　志波　徹（大阪ガス株式会社　エネルギー・文化研究所　主席研究員）

② **HEMSが搭載された集合住宅における居住者属性・意識とエネルギー消費の関係**　大塚　彩美（横浜国立大学 大学院 環境情報学府 環境イノベーションマネジメント専攻 博士課程後期）

③ **WEBアンケートによるマンション居住者の省エネ行動・意識の検討**　阿部　寛人（東京都市大学大学院　修士課程）

④ **既存マンションにおける夏期エアコン電力消費量と省エネ行動・意識の検討）**　吉田　一居（株式会社東急不動産次世代技術センター　上席研究員）

⑤ **一都三県で暮らす生活者の環境・省エネ意識と実態－生活定点観測データから生活者の暮らし・意識の変化を探る－**　近藤　芳樹（東京ガス株式会社　都市生活研究所　主幹研究員）

⑥ **食生活から見る行動変容ステージモデルに応じた省エネ行動支援策の在り方**　赤石 記子（帝京平成大学　助教）

⑦ **日米比較から見る行動変容によるエアコン使用量削減の可能性**　三神　彩子（東京ガス株式会社　リビングマーケティング部　営業技術企画グループ　主幹）

⑧ **日米の省エネ意識の比較－BECCにおける省エネ行動プログラムの動向を通じて－**　神戸　寛貴（東京大学大学院工学系研究科建築学専攻　修士課程）

⑨ **食器洗浄時の節水行動に伴う省エネ行動変容の可能性と効果**　荒木　葉子（新渡戸文化短期大学　准教授）

⑩ **ごみ減量啓発活動による環境・省エネ行動変容効果－東京都北区リデュースクッキング推進への協力－**　久松　裕子（東京家政大学　助教）